

## 奈良ダルクのご案内

### Drug Addiction Rehabilitation Center

#### ドラッグ アディクション リハビリテーション センター

奈良ダルクは、薬物依存者回復支援施設です。ダルクとは、毎日グループミーティングを基本に行い、薬物依存から回復したいと望む仲間の集まる場所です。

ダルクの目的は、薬物をやめたい仲間の手助けをすることだけです。どんな薬物依存者でも、プログラムに従って徹底的にやれば必ず回復できるという希望のメッセージです。

#### インテーク&オリエンテーション

奈良ダルクでは、最初にスタッフが面談を行い、利用に関して簡単な説明を行います。また、相談者にとってどのような回復への取り組みが望ましいか提案させていただきます。分からないことはスタッフに何なりとご質問ください。

通所・入所のどちらの利用も可能です。（入所定員 15 名 通所定員若干名）

入所を希望される方は他のダルクへ入所するという方法もありますので、ご相談下さい。

初めて、奈良ダルクに訪問される時は、出来るだけ前日までに面談の予約を取った上お越し下さい。

また、薬物（アルコールを含む）が入った状態での面談は出来ません。

#### 所在地

〒639-1058 奈良県大和郡山市矢田町 4163

Tel&Fax 0743-20-0785

<https://naradarc.org>

E-mail [contact@naradarc.org](mailto:contact@naradarc.org)

交通：JR 大和小泉駅東口より 71 系統バス（約 15 分）～矢田山町下車徒歩 8 分

面談のご予約、問い合わせは、月～金曜日 10:00～16:00 です。

TEL&FAX 0743-20-0785

合法、非合法を問わず薬物のことでお困りに方はお気軽にお電話ください。秘密は厳守いたします。



## 利用料

- ◇ 入所一時金として 20 万円（生活保護受給者は福祉事務所と協議）
- ◇ 入所費、月額 16 万円（生活保護受給者は減額）
- ◇ 通所利用は、プログラム費と食事提供として月額 2 万円

## 奈良ダルク利用者確認事項

1. NA（他の自助グループも含む）ミーティングに参加することを習慣化することが、ダルクプログラムの第一の目的です。できるだけ、毎日参加しましょう。日中、ダルクを利用していても、NA ミーティングに全く出席しなかったとしたら、ダルクを利用する意味が薄れてしまいます。NA に参加する姿勢がみられず、出席率が低いとスタッフが判断した時には、ダルクの利用を中止していただく場合もあります。なお、特別な事情があって、参加することができない理由のある人はスタッフに相談してください。
2. 薬物（アルコールも含む）の施設内での持ち込み、使用は一切禁止です。（ただし、病院で処方されている薬や病気の治療薬は別です。ただ、乱用目的が明らかな時には、持ち込み禁止の対象となります）
3. 暴力（言葉も含む）はやめてください。
4. 利用者同士での金銭の貸し借りや施設内での賭け事は、トラブルの原因になるのでしないでください。
5. 新たな生き方が始まったばかりの利用者同士が電話番号を交換したり、自宅を行き来するのは危険です。使っていた頃の薬仲間と同じような関係になりかねません。連絡先を教えあうのは、スタッフや数年のクリーンタイム（断薬期間）のある仲間がいいでしょう。
6. 薬物の生々しい話や武勇伝は、「今日だけ」薬物をやめ続けるためにダルクを利用している仲間の回復にとってあまり役には立ちません。
7. ダルクや NA で知り合った仲間と薬物を使う事や、密売人などの連絡先、薬の入手方法を教える事は、時として他の仲間の命を奪いかねません。もし、このような事実が発覚した時には、利用を中止していただく場合があります。
8. クリーンタイム（断薬期間）が短い時期に、ダルクや NA で知り合った仲間と恋愛関係や、性的な関係になるのは、回復のさまたげになります。
9. 施設の備品は大切に使ってください。故意に壊した時は、個人負担で弁償していただく場合があります。
10. C 型肝炎等の感染症および、その他の疾病をおもちの方で治療が必要な方は利用契約の際お申し出ください。プライバシーは厳守します。

## ダルクでよく使われているスローガン

<i>JUST FOR TODAY</i>	今日だけ
<i>EASY DOSE IT</i>	気楽にやろう
<i>I CAN'T WE CAN</i>	私には出来ないが、私たちなら出来る
<i>KEEP IT SIMPLE</i>	簡単に
<i>FIRST THINKING FIRST</i>	第一のことは第一に

## 基本的な週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:30	開所	開所	開所	開所	開所	開所	
9:30-10:30	ハウスM	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	フェローシップ
11:00-13:00	昼食作り 昼食	昼食作り 昼食	昼食作り 昼食	昼食作り 昼食	昼食作り 昼食	昼食作り 昼食	日用品
14:00-15:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	NA	セルフP	買い物等
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	
17:00	閉所	閉所	閉所	閉所	閉所	閉所	
19:00-20:00	NA	NA	NA	NA	NA	NA	ミーティング

NA とはナルコティクス・アノニマス（＝無名の薬物依存者たち）の略で、12 ステップを使った薬物依存者の自助グループのこと。1953 年にアメリカではじまって以来、世界 50 数カ国に広がっている。京都では 1990 年頃に上京区にて NA ミーティングがスタート。コミュニティに広がりを持つ NA や AA のようなサポートグループが存在しなければダルクのようなリハビリテーションセンターは存在し得ない。

ダルクを利用するにあたって、NA に出席することを強く提案することは、重要な意味を持つ。ダルクに通いながら、NA への参加が習慣付けられる事により、ダルクを出たあとも、コミュニティで行われている NA や AA ミーティングに参加し、12 ステップを継続して実践して、「スポンサー」と呼ばれている自分より長く薬をやめている相談者と共に、各グループの中でボランティアな役割を持ち、ホームグループの一員としてクリーン（薬物を使わない新しい生き方）な人生を継続できるからである。

### グループミーティング

プログラムの核となるのが、ダルク内で行なわれるグループミーティングである。ミーティングの手法及び内容は NA の中身にはほぼ準じている。依存から回復するためのプログラムとしては、王道的なものです。NA（他の自助グループも含む）ミーティングに参加することを習慣化することが、ダルクプログラムの第一の目的です。

### 昼食作り

その日の利用者で話し合っ、献立を決め、食材を近所のスーパーに買出しにでかける。その間、残りの者は、米を炊いたり、お茶の準備をしたり、キッチンの下準備をする。買出し組が帰ってくると、かわるがわるキッチンにて、調理が始まる。

その日その日で、クッキングブックを開き、スタッフと献立を考え、協力し合うことが親睦にも一役かっている。また、解毒後間もない薬物依存者は、体力の回復と栄養バランスを正しく取ることが求められており、肉体的な回復の大きな糧となっている。様々なクッキングメニューを覚えることで、今後の自立に効果も期待。

### 作業・レクリエーション

パソコンのビジネスソフトの習熟、チラシ製作、インターネットによる薬物依存の回復に向けた情報発信やバザーやボランティア活動への参加。スポーツ施設での運動や他の施設とのスポーツ大会など。

### メッセージ活動

拘置所、精神病院等でトリートメント中の薬物依存者に面会にてかけ、回復の希望を伝える。（原則的にスタッフ及び、3ヶ月以上のプログラム参加者が行う）

### イベント参加

ダルクフォーラム、NA パブリックインフォメーション、セミナー、その他行政、司法、医療、教育、更生保護機関等が開催する薬物関連問題の研修会や講座へ参加。要請に応じ体験発表などをする。NA などが主催する宿泊研修会（通称：「ギャザリング」）への参加

# アクセス

